



開発したレディースコート

一宮日刊記者会同時

平成25年2月15日(金)  
あいち産業科学技術総合センター  
尾張繊維技術センター素材開発室  
担当 池口、島上、池上  
電話 0586-45-7871  
愛知県産業労働部産業科学技術課  
管理・調整グループ  
担当 西村、山口  
内線 3389、3381  
(ダイヤルイン) 052-954-6347

## 車いすに座っても動きやすく、立ち姿も美しい レディースコートを開発しました！

— あいち産業科学技術総合センターが養護学校などと共同開発 —

あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センターは、財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター(以下、FDC)、県立一宮養護学校、及び地元企業と共同で、**車いす**で生活する子ども達のための衣服開発に取り組んでいます。

今年度は、**車いすに座っても動きやすく、立ち姿も美しいレディースコート**を開発しました。開発にあたり、これまでの共同開発によって培われた福祉衣料作りのノウハウに加え、地元毛織物産地企業の高い技術力を活用しました。

開発したコートは、平成25年2月20日(水)から22日(金)まで一宮市総合体育館において開催される「10th JAPAN YARN FAIR & 総合展『THE 尾州』」内の「あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター 研究・試作展」において展示・紹介します。

多くの皆様のご来場をお待ちしています。

### 1 背景

車いすで生活する子どもたちは、一般に市販されている衣服では動きづらかったり、脱いだり着たりすることが難しいことが多く、自分が望む衣服を着ることができず寂しい思いをしています。一方で、福祉衣料の制作は、それぞれの人の症状に適した多くの工夫が必要となり、これらの工夫を実現するためには高い技術力が要求されます。

尾張繊維技術センターは、平成20年度より、FDC、県立一宮養護学校、地元企業と共同で、車いすで生活する小学生から高校生までの子ども達の希望を叶えようと福祉衣料の開発に取り組んできました。県立一宮養護学校の生徒の希望から開発内容を決定し、身体の動きに合わせた衣服のデザインや素材の検討を行い、着やすい・着せやすい工夫や、座った状態でもシルエットが美しくなる工夫を重ねて開発を行っています。

平成21年度には伸縮性に富んだレディーススーツ\*1、平成22年度にはジャケット・パンツ\*2、平成23年度にはかっこいいメンズコート\*3を制作しました。

## 2 開発品について

今年度は、「車いすがこぎやすく、クラッチ※<sup>4</sup>で立ってもすっきりとしたかわいいコートが着たい」という女子生徒の希望をもとに、尾州地区の捻糸、製織、縫製企業との共同で開発に取り組みました。(写真1)

コートのような外衣は生地が厚いため、通常、腕や肩が動きにくくなります。そのため、車いすをこぐことが非常に大変になります。また、座ったときに裾がだぶついてしまうのもシルエットを崩す原因として課題となっていました。

一方、立つときに使用するクラッチの支え(カフ)が袖に引っかかるのも大きな課題でした。

開発したコートはこれらの課題を解決するための多くの工夫が盛り込まれています。

その特徴は下記のとおりです。

### ① 肩・袖の動きやすさ

車いすがこぎやすいように肩から袖にかけて伸縮性の高い素材を組み合わせました。(写真2)

### ② 裾のライン

クラッチで立ったときに前屈みになってしまうので、この姿勢に合わせた裾のラインを設計しました。

### ③ 袖口のファスナー

クラッチに付いているカフで袖口がもたつくので、立つときだけ袖口を拡げてクラッチが袖の中に隠れるようにしました。(写真3)

### ④ 脇のファスナー

車いすについている転落防止用のベルトをコートの中に隠せるように、脇にファスナーを付けて中に入れられるようにしました。

### ⑤ レインケープ

不意の雨を防ぐためのケープです。紙糸を使った織物に撥水加工を施しました。軽くてさらっとしているのが特徴です。(写真4)



写真1 コートの制作風景



写真2 肩・袖



写真3 袖口



写真4 レインケープ

### 3 展示会概要

- (1) 名 称 あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター 研究・試作展  
    (「10th JAPAN YARN FAIR & 総合展『THE 尾州』」内)
- (2) 日 時 平成25年2月20日(水)から22日(金)まで  
    午前10時から午後5時まで
- (3) 場 所 一宮市総合体育館 (一宮市光明寺字白山前20番地)
- (4) 入場料 無料

### 4 問い合わせ先

あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室

担 当 池口、島上、池上

所在地 一宮市大和町馬引字宮浦35

電 話 0586-45-7871

FAX 0586-45-0509

## 【用語解説及び参考】

### ※1 レディーススーツ (写真5)

ウール 100%織物を使って、随所に設けたフックやファスナー、座った状態で胸元や膝元がはだけないデザインにより、ひとりでも着やすいスーツを開発しました。

平成 21 年度開発品



写真5 レディーススーツ

### ※2 ジャケット・パンツ (写真6)

伸縮性に富んだ綿 100%のデニム生地（作業服やジーンズに使われる厚手の織物）を使って、フックやファスナーの設置、姿勢維持のための車椅子の固定ベルトを隠すようなデザインにより、着脱が容易ながらシルエットの美しい服を開発しました。

平成 22 年度開発品



写真6 ジャケット・パンツ

### ※3 メンズコート (写真7)

体の可動域を考慮し、背中部分を大胆に開いたデザインや、袖にファスナーを設けることにより、着脱が容易でシルエットの美しいコートを開発しました。生地自体への抗菌・消臭加工に加え、特に汚れやすい襟や袖口は取り外して、洗濯が可能となっています。

平成 23 年度開発品



写真7 メンズコート

### ※4 クラッチ

歩行補助杖のひとつ。握力が弱い人でも使用できるように、握りの部分と前腕を支持するカフ（腕を支えるわっか）で構成されています。（写真8）



写真8 クラッチ

カフ